

## 職業講話「企業人事担当者に聞く」

2024年12月4日(水)5時限

今年度も1学年では5人の講師の方をお招きして話を聞くことができました。生徒たちはとても刺激を受け、良い経験になったようです。今後の学校生活や進路決定に役立てて欲しいです。



福祉関係のお仕事では、実際に介護現場で働いている卒業生も来てくれました。

生徒は、お二人の仕事を始めたきっかけなどに刺激を受け、介護職へのイメージがポジティブに変わり、より興味を持ったようです。やりがいがあることで続ける気持ちになったり、ストレスを感じることもあるという側面も知ることができました。また、挨拶や言葉遣いの大切さも教えていただきました。

今年度内定をいただいた企業からも人事担当の方が3名も来てくださいました。

生徒は、扱っている食品は身近なものでも自分たち消費者の手に渡るまでの過程を知ることができ、視野が広がったようです。人のために働く大切さなどにも大変共感したようです。またB to Bという企業間の取引について知り、会社について詳しく知ることができ、今後の進路選択の幅が広がったと言っていました。



人気の販売職からは昨年同様の方にもお願いしました。

生徒は、「エッセンシャルワーカー」という説明が印象に残ったようです。企業努力のお話を聞いて、初めて知ったことがたくさんあったようです。また高校生活の中で心がけることのお話もあり、今後の生活に活かしたいとの声が多かったです。

本校の美術教員からの紹介で、美術科では笠間市在住のアーティスト(デザイナー)の方に来ていただきました。

生徒は、大学で好きなことを学ぶことと就職して働くこととの違いを理解するきっかけをいただきました。作品を制作する上での視点も広がったと思います。人とのつながりを大切にしながら自分のやりたいことや強み、苦手なことを見つめ直したいとの声もありました。





メディア芸術科には、やはり本校美術教員の紹介で、アーティストの方をお呼びしました。

生徒は、お話にあった働く意義の3つの視点にとっても刺激を受けたようです。自分にとって楽しいこと、業界とその周辺にメリットがあること、世のため人のためになること、とのことです。また、仕事ができる人とはどんな人なのか具体的に教えていただきました。社交性を養うこと、辛いことを乗り越える根性、視野を広く持つ寛容、などです。今日聞いた話を今後の生活に活かそうと考えてくれた生徒が多かったです。